

セルフメント(Selfment)という思想

2025年1月6日 風間 裕 継

宇宙の本態とは何か？それは生命意識態であり、波動エネルギー態でもあり、つまるところ不可説不可思議な存在であると言えます。それでも、その宇宙をホログラフィックに体感している“自ずから分かれた自分”が確かに存在するのです。この体感こそが宇宙の本態の表れであり、自分自身の体験を存分に味わい尽くすことこそが、宇宙の意図を体現した生き方と言えるのです。

見て、聞いて、味わい、嗅ぎ、触れ、そして直観するという六感や心の体験を通じて、私たちは喜びや悲しみ、勇気や恐れ、迷いや安心、感謝など、多様な感情を味わいます。それらの一つひとつを客観的に見つめ、深く味わい尽くすことで、充実感を得ることができます。この行為そのものが、宇宙—大きなセルフ(大セルフ)—が私たちを通じて味わいたいことなのです。

したがって、どのような自分であれ、日々の一挙手一投足に充実感をもって生きることこそが、小さなセルフ(小セルフ)の本分だと言えるでしょう。この大セルフと小セルフが調和しながら奏でる営みを、セルフメントと名付けます。

セルフメントの定義

セルフメント(Selfment)とは、自ずからに由り、自ずから在るという自由自在を体現する生き方です。

一般的に「自由自在」とは、物事を思い通りに操る意味で使われます。しかし、セルフメントにおいてはそれを超え、自らの思い込みや制約を削ぎ落とし、自然体でありのままの自分を尊重しながら生きる姿勢を意味します。この姿勢を土台とすることで、自ずからの可能性を最大化し、心から思い描く未来を切り拓くことができるのです。

セルフメントの思想における「自由自在」とは、外部環境や他者の意図に縛られず、自分自身の本質と調和した自由を意味します。その自由は、他者をも調和の中に包み込み、創造的な未来を構築する原動力となります。

セルフメントの提唱

セルフメントは、この新しい「自由自在」のとらえ方で、次のような生き方を提唱します。

1. **自然体で生きる**：自らの本質を受け入れ、ありのままの自分を尊重する。
2. **可能性を最大化する**：自らが持つ潜在能力を発揮し、制限を超える。
3. **調和的な創造**：自然体でありながら、他者や環境と調和し、共に未来を創り上げる。

この思想に基づき、セルフメントは個人が“自ずから”の調和を保ちながら、力強く未来を創造するための新しい指針を提供します。セルフメントは、どんな人にも内在する“大セルフ”の意図を、“自ずから分かれた小セルフ”として体現し、全体の一部として生きる喜びを味わい尽くすことを目指します。これは、誰もが持つ自由への希求を満たし、調和と創造の新しい地平を切り拓く、革新的な生き方です。 以上